

科目名	キャリアプランニング 2							年度	2026
英語科目名	Career Planning 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柴 徳昭		教員の実務経験	無	実務経験の職種	作家活動			
<b>【科目の目的】</b> キャリア全体に役立つ共通スキルを習得しつつ、初期段階では音楽業界にフォーカスする。セルフプロデュースやアーティストとしての自己PR、プレゼンテーションスキルを学び、音楽スキル以外にも情報収集力や人脈構築、社会での自立意識を身につけることを目指しています。授業はグループワーク等も行い、学生が司会やプレゼンを行うなどアクティブラーニングを重視し、能動的な参加を促す。									
<b>【科目の概要】</b> この講義では、音楽業界で働く為の最低限のルール、業界のルールを道徳的な観点から学生に伝えていく。ミュージシャンとしてスキルを上げるだけではなく、「人」として信頼される礼儀作法や、マナーを指導する。一般常識や、時事問題などを学生に意識をさせ、世の中の情勢も音楽家として大切であることを伝える。学生が何に悩み、何を今考えているのかを把握し、学生指導に役立てている。自分の考えを文字として書くことを習慣化させ、就職活動において履歴書に記述することに抵抗を持たない学生を育てることも主眼としている。									
<b>【到達目標】</b> A. ロジックに基づいた文面を考案することができる B. アーティストとしての自己PRが学外関係者に対してできる C. クラスで団結してひとつの演目を作ることができる。									
<b>【授業の注意点】</b> 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。職業訓練とは、2年後の自分自身の生きる糧・力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考えを持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	ロジックに基づいた文面を考案することができる		文面を考案することができる			到達目標Aについてさらなる努力が必要			
到達目標 B	アーティストとしての自己PRが学外関係者に対して深くできる		アーティストとしての自己PRが学外関係者に対してできる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 C	クラスで団結してひとつの演目を作ることに貢献できる		演目を作ることに貢献できる			到達目標Cについてさらなる努力が必要			
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 適時プリントを配布									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 評価基準はルーブリック評価に基づき、進級公演の参加を以て評価をする									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアプランニング2			年度	2026
英語表記		Career Planning 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期振り返り	評価反省	1 前期振り返り	前期の成果理解ができる	3	
			2 ショーケース分析	ショーケースの評価技法		
			3 客観的評価	他者の評価受容力育成		
2	地域と音楽	地域貢献	1 地域の音楽	地域音楽の特性を学ぶ	3	
			2 地域活動	地域での音楽活動法		
			3 社会参加	音楽を通じた地域貢献		
3	練習重要	練習法理解	1 練習の価値	効果的練習法の習得	3	
			2 継続の大切さ	継続の重要性理解可		
			3 成果の見える化	自身の成果の可視化法		
4	業界研究①	業界初紹介	1 音楽業界①	音楽業界の概要理解	3	
			2 業界トレンド	業界最新トレンド習得		
			3 主要企業研究	主要音楽企業の研究法		
5	業界研究②	業界詳解	1 音楽業界②	音楽業界の深層理解	3	
			2 新しい動向	新しい音楽動向習得		
			3 市場調査	音楽市場の分析技法		
6	文章技術	小論文基礎	1 文章の書き方	効果的文章構成法	3	
			2 アカデミック文	アカデミックライティング		
			3 ライティング技術	上級ライティング技法		
7	SPI解説	SPIの基本	1 SPIの理解	SPI試験の概要理解	3	
			2 テスト対策	SPI試験対策の実技		
			3 効果的学習法	効果的学習手法習得		
8	進路設計	進路設計	1 進路の考察	自分の進路の考察法	3	
			2 夢の設定	具体的夢の設定方法		
			3 キャリアプラン	キャリアプラン作成法		
9	企業希望	人材理解	1 企業人物像	ビジネス界の人物像学び	3	
			2 ビジネスマナー	ビジネスでの礼儀作法		
			3 求められる資質	業界で求める資質学び		
10	実演学習	先輩の知識	1 先輩の演奏	先輩音楽家の技術習得	3	
			2 実践的学び	実践を通じた学び方		
			3 技術の吸収	新しい技術の取得方法		
11	面接知識	面接事前	1 面接のポイント	面接の成功のポイント	3	
			2 自己PR技術	自己PRの効果的方法		
			3 対話力向上	対話能力の強化方法		
12	面接対策	面接スキル	1 面接実技	実際の面接技術習得	3	
			2 模擬面接	模擬面接の実施方法		
			3 フィードバック	効果的フィードバック法		
13	鑑賞力UP	感性磨き	1 鑑賞の方法	音楽鑑賞の深層技法	3	
			2 感性磨き	感性の磨き方学び		
			3 評価技術	音楽評価の正確な方法		
14	社会応用	音楽応用	1 音楽と社会	音楽と社会の関係理解	3	
			2 音楽の価値	音楽の社会的価値学び		
			3 社会貢献法	音楽での社会貢献方法		
15	公演計画	プログラム作成	1 進級公演	公演の成功の秘訣	3	
			2 プログラム作成	公演プログラム作成法		
			3 実践的活用	音楽活動の実践活用法		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等